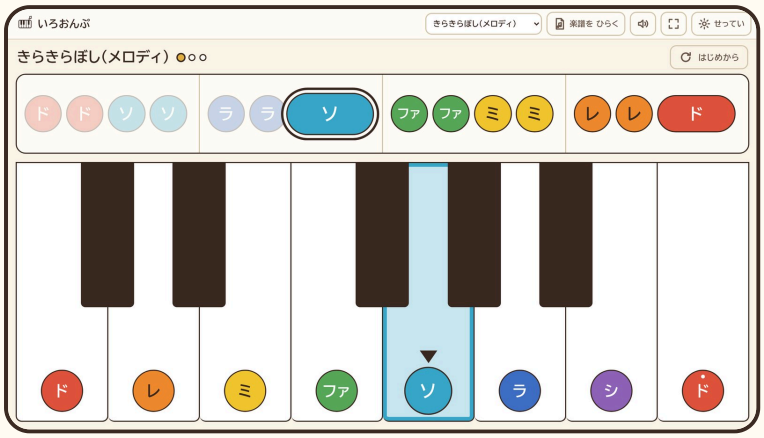
けいていの音楽ツールズ 会員に 新しく入りました（2026年11月）

楽譜のどこを見て、どの鍵盤を押せばいいか、わからない。

色の音符と、同じ色の鍵盤。光ったところを、押すだけ。

いろおんぷ 色の音符・けんばん・もっきん・ベル ｜ ほか、特別支援の12のツール



実際の画面。楽譜（きらきらぼし）を読みこんで、つぎにひく「ソ」が光っています。

1 色の音符と、同じ色の鍵盤・木琴・ベル
教室の鍵盤にはったシールの色に合わせて、1音ずつ色を直せます

2 光ったところを押す。まちがえても ×は出ない
ちがうところを押しても、その音がやさしく鳴るだけです

3 楽譜（MusicXML）を読みこめる
パートをえらべます。くり返し記号もそのまま。Flatなどから書き出した楽譜を入れられます

ひく音を「拍のあたまだけ」「小節のあたまだけ」にもできます（のこりはツールが鳴らします）。

子どもの画面には「特別支援」と出ません。 子どもに見えるのは、ツールの名前と絵だけ。部屋に出るのも、先生が入れたものだけです。

いろおんぷの ほかに、11のツール 流れ・順番・回数・合図・歌詞・ふしづくり・聴いた感じ・記録を、電子黒板やタブレットに

1 鳴らす・歌う・つくる・感じる いろおんぷの ほかに 4こ

ワンタッチ がっき 部屋に配れる
大きなボタン1つで、ばんそうに合わせて合奏に入る。外付けのスイッチでも

うたの カード 部屋に配れる
歌詞を大きく、いまの行だけ明るく。歌詞は、先生が画面の上でそのまま直せます（ふりがな・『ここだけ歌う』も）。何曲ものこせます

カードで ふしづくり 部屋に配れる
音のカードをならべて、ふしをつくる。先生の「とい」に「こたえ」も。使う音は先生がえらべます（2つから8つまで・♯ ♭も）

きもち シール 部屋に配れる
聴いた感じを、絵のシールをはるだけで。曲を入れると、タップしたところが曲のどこか線の上に出ます。押すとそこから聴けます

2 授業の見通し・順番・合図 6こ

きょうの ながれ 部屋に配れる
授業の流れを絵のカードで。おわったら はずす。予定の変更は、前もってカードで知らせる

だれの ばん？ 先生が使う
だれが・なにを・なんかい を大きく。鳴らすたびに●がへって、つぎの人へ

あと なんかい？ 部屋に配れる
おわりを回数（●）で見せる。時間なら、へっていく輪で

ならす・おく 先生が使う
「ならす」「おく」の合図を、色・形・絵・ことばで大きく。「とまる めいじん」も

のばす ながさ 部屋に配れる
声をのばす長さを、へっていく数字とますで。マイクでも、ボタンでも

おとの おおきさ よほう 先生が使う
大きい音の前ぶれ・音の大きさのめやす（マイク）・耳をふさいだときの記録

3 記録 1こ

できた きろく 先生が使う
子ども×かつどうを1タップで記録。いっしょに入る先生への3行メモ・学期のまとめ

大事にしたこと

- **まちがいの音や ×は出ません**（押した音が、やさしく鳴るだけ）
- **名前・写真・記録は、その端末の中だけ**（どこにも送りません）
- **スペースキー・外付けのスイッチでも動きます**（子どもが使うツール）
- **★などの演出は、先生が「なし」にできます**（色だけで分けません）

どれも、国や教育センター、大学の資料に書かれている手立て（流れを先に見せる・回数を●と数字で見せる・色の音符と鍵盤に同じ色のシール など）をもとに作りました。特別支援学級で使っていただいた記録は、これからです。使ってくださる先生の声で、育てていきます。

はじめ方（会員の先生）

1. 会員の画面の「ツール」をひらく
2. 下のほうの「特別支援」の枠から、ツールをひらく
3. 子どもの端末で使うときは、ツールの「せってい」→「クラスの音楽の部屋に入れる」

動画と、会員の案内は こちら
いろおんぷの動画、12のツールの中身、プラン・お申し込みを のせています。
ktteacher.net/kaiin/#tokushi

© けいていの音楽ツールズ

ツールの名前・画面は 2026年11月15日のものです